

<芸術の爆発！岡本太郎美術館でアートの旅を楽しもう>

川崎市多摩区に位置する岡本太郎美術館は、川崎生まれの芸術家・岡本太郎の作品を展示する美術館です。1999年に開館し、岡本太郎が寄贈した1779点の作品を所蔵しています。

美術館は「自然と融合した美術館」をコンセプトに設計され、地上には高さ30メートルのシンボルタワー「母の塔」がそびえ立ちます。常設展示室では、岡本太郎の多岐にわたる作品や思想を体験型展示空間として紹介しています。

美術館内にはカフェテリアもあり、展覧会の余韻を楽しみながらリラックスできる空間が提供されています。ぜひ一度足を運んでみてください。



<パラアート作品常設展示：川崎市生涯学習プラザ>

先日、小杉にある川崎市生涯学習プラザで開催されているパラアート作品常設展示を見に行ってきました。

この展示は、社会福祉法人聖風会アトリエ聖風（川崎区）に所属するアーティストの皆さんの絵画が展示されています。展示は3月末まで続きます。

アーティストの皆さんの作品は、それぞれが独自の視点と感性で描かれており、見る者に深い感動を与えます。色彩豊かな作品や、繊細なタッチで描かれた絵画など、多様な表現が楽しめます。お近くにお越しの際は、ぜひ川崎市生涯学習プラザに立ち寄り、パラアート作品の素晴らしさを体感してみてください。



<アトリエひらま with 林明水>

1月の絵画教室は、ハンカチに絵具を染み込ませて、キャンバスにペタペタと模様を付ける楽しい時間を過ごしました。子供たちは自由な発想で色とりどりの模様を作り出し、キャンバスとハンカチにはそれぞれ素敵なアート作品が出来上がりました。みんなの笑顔が輝いていて、とても素敵なひとときでした😊

手に絵の具をべったりつけて遊ぶ子供たちの姿はとてもかわいらしく、見ているこちらにも楽しい気持ちになりました。子供たちの創造力とエネルギーに感動しました。



<人形劇>

1月23日（木）、かせやまで今年最初の人形劇事業を行いました。参加者の皆さんは笑顔で楽しそうに人形劇で使う作品を作っており、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。皆さんの楽しそうな笑顔がとても印象的で、心温まるひとときとなりました。

この人形劇事業を通じて、利用者さん同士が今よりもより良い関係を築くことができると心から願っています。新しい友達ができたり、普段は話す機会が少ない方とも交流が深まったりと、皆さんの絆がさらに強くなることを期待しています。

これからも皆さんが楽しめるイベントを企画してまいりますので、どうぞご期待ください。



<COLORs2024展>

COLORS展2024運営委員会が1月20日（月）に地域福祉施設ちどりで開催されました。

2024展は、出展作品数200点（公募142点、支援学校関係58点）。出展団体39団体（初6団体）。来場者数1,470人（10日間）。アンケートでは来場者40代以上が80%、市内在住66%、満足の評価98%でした。

2025展も開催予定ですので、準備をよろしくお祈いします。多くの皆様の作品をお待ちしています。

<ダンス教室>

新年を迎え、“HIRA☆DAN”では新しい仲間が加わり、ますます活気に満ちたダンス教室となっています。新年最初のレッスンでは、今大人気の『はいよろこんで/こっちのけん』のギリギリダンスの振り付けを先生が教えてくださり、皆で大いに盛り上がりました。

今年も地域の皆様が楽しく、気軽に参加できるインクルーシブなダンス教室を開催していきたいと思ひます。



<まちかどパラアート展2025作品募集>

“まちかどパラアート展”出展作品を募集します。1月号で紹介したように川崎市内で高津区の橘公園・幸区の夢見が崎動物公園・川崎区の施設など候補地を調整中です。

いろいろな絵を描いて応募してください。できれば動物の絵をお願いします。ほかにも川崎市内のいろいろな場所に展示しようと思ひています。

応募方法：まずはメールでご応募ください。①作品の画像を添付してください。②次の項目を記載してください。「作品タイトル」・「作者氏名」（ペンネーム可ただし本名も記載）・連絡先（メールアドレス）・所属（法人・事業所名、個人）

応募先・問合せ先 hirama-art@tomokawasaki.or.jp

<菜園事業>

■鷹の爪

今年も菜園ボランティア活動で作られた赤い唐辛子を乾燥させて丁寧に袋詰めしたひらまの“鷹の爪”が完成しました。

「相談交流ひらま」のノベルティとして窓口などで皆様にお届けしています。鷹のイラストは島田優太さんの作品です。



■焼き芋大会

1月30日、ひらまの菜園で収穫したさつまいもを使って、手作りの壺で焼き芋を作りました。

ボランティアさん、生活介護の利用者さん、ひらまの施設の職員、みんなで美味しく頂きました。

利用者さんたちはさつまいもを丁寧に洗ってくれ、行事に積極的に参加してくれました。残ったさつまいもは子ども食堂などに配る予定です。

私たちの活動は多くの人々の協力で成り立っています。これからも皆さんと素敵な時間を共有していきたいと思えます。



<二十歳を祝う会>

1月18日、高津市民館で「川崎市障害者二十歳を祝う会」が開催されました。来賓として川崎市市長、市議会議員、教育長、健康福祉局長、社会福祉協議会、身体障害者協会、あやめ会、障害福祉施設事業協会などが参加する中、138名の二十歳を迎えた皆さんが参加されました。

この事業は社会福祉法人ともかわさきが川崎市から補助金を受けて分室が事務局となって毎年開催をしていましたが、本年をもって終了することとなりました。分室の皆さん大変お疲れ様でした。

